

平成15年度予算

『市民起点の

行政サービスの提供』

総 額
495億
7842万5千円

平成15年度予算編成では、第3次岡谷市総合計画前期基本計画の最終年度として、将来都市像「人と自然が共生する健康文化産業都市」の具現化に向けた6本の柱を基調とし、8項目を重点施策（4ページ参照）に予算編成を行いました。

会計別では、一般会計が230億500万円で、前年度当初予算に比べ21億8500万円、10・5%の増。特別会計（湊財産区を含む）は、119億730万円で、前年度比18・0%の減となりました。岡谷病院・塩嶺病院と上下水道の企業会計は、146億6612万5千円で前年度比0.8%の減となり、総額495億7842万5千円となりました。

平成15年第1回市議会定例会が

2月25日から3月20日まで開か

れ、林市長は15年度の予算編成方

針を次のように述べました。

我が国は、現在デフレ経済のもと、出口の見えない長期的不況下にあります。

企業倒産、雇用不安や失業、また急速に進展する少子・高齢化な

ど、私たちが生活する上で厳しい環境となってきたとあります。

このような厳しい状況ではありますが、引き続き市民の皆様の生活を守るべく本市が直面する数々の課題に対し様々な検討を一つ一つ着実に積み重ねながら、その解決に向け最大限の努力してまいりたいと考えております。

諏訪広域合併への動きが大きく

前進している現在、岡谷のまちづ

くりをどのようにすべきか、大

きな課題であります。

今後も、市民の皆様の要望を的確に把握することに努め、市民福祉の向上に全力を傾注し市政運営に取り組んでまいります。

国の平成15年度予算は、一般会

平成15年度予算一覧

会 計 名		予 算 額	前年度比較	増減率
一 般 会 計		230億500万円	21億8,500万円	10.5%
特別会計	国民健康保険事業	41億8,900万円	4億6,400万円	12.5%
	地域開発事業	20億7,790万円	△2億1,100万円	△9.2%
	公団分収造林事業	3,000万円	△870万円	△22.5%
	交通災害共済事業	4,940万円	△60万円	△1.2%
	霊園事業	1,450万円	200万円	16.0%
	老人保健事業	54億6,300万円	3億5,400万円	△6.1%
	温泉事業	2,580万円	1,080万円	72.0%
	訪問看護事業	4,250万円	430万円	11.3%
	駐車場事業	0円	△6,910万円	△100.0%
	介護保険事業	0円	△24億3,000万円	△100.0%
	計	118億9,210万円	△25億9,230万円	△17.9%
湊財産区一般会計		1,520万円	△2,130万円	△58.4%
企業会計	岡谷病院事業	51億4,859.9万円	△9,495.4万円	△1.8%
	塩嶺病院事業	43億750.7万円	△3361万円	△0.8%
	水道事業	14億7,919.8万円	△711.4万円	△0.5%
	下水道事業	37億3,082.1万円	1,876.7万円	0.5%
	計	146億6,612.5万円	△1億1,691.1万円	△0.8%
合 計		495億7,842.5万円	△5億4,551万円	△1.1%

※企業会計の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計額。
前年度比較の△印は、減額を意味します。

計の総額で、81兆7891億円となり、前年度比0.7%増と3年ぶりに増加に転じております。
また、政策的経費である一般歳出は、0.1%増の47兆5922億円となり、2年ぶりの増加となっております。

総務省は、平成15年度地方財

政重点施策を発表しておりますが、その中で地方公共団体が、自己決定・自己責任の原則のもと、地域の潜在力を活用した生きがいと活力ある地域社会
・地域が有する特性を活かし、個性を発揮するとともに、住民が自らの地域に誇りを持てるような地域社会
・人と自然にやさしく、安心して暮らせる地域社会
・災害等に強く、安全に暮らせる地域社会
の構築に向けた役割を果たすことができるよう重点施策を推進する、としております。

こうした状況のもと、地方自治体は、国・地方を通じた厳しい財政状況をふまえ、事務事業の効率化や経費の削減など徹底した行財政改革の一層の推進等により財政の健全化を図る必要があります。

平成15年度の岡谷市当初予算は、第3次岡谷市総合計画前期基本計画の最終年度として、引き続き将来都市像「人と自然が共生する健康文化産業都市」の具現化に向け、6つの柱を基調とし編成しました。

平成14年度から3か年計画で「市民起点の行政サービスの提供」



と「行政の本来やるべきことは何か、いかに無駄のない分かりやすい行政体となるか」をテーマに第3次岡谷市行政改革がスタートしました。

行政改革の真の目的は、行政体としての能力を高め、行政サービスの質と効率を向上させることであり、より良いサービスをより安く提供することにあります。

引き続き、「第3次岡谷市行政改革大綱」に基づき、創意と工夫と努力をもって行財政改革を積極的に推進すると共に計画的な行政運営を行ってまいります。

これからも市民の皆様のご意見やご要望が施策に反映される開かれた市政を実現し、市民一人ひとりがそこに住むことに誇りと愛着を持ち、豊かな心で人と人とが交わるができるまちづくり、強さと優しさの兼ね備わったまちづくりを推進してまいります。

予算の大綱

歳入

歳入の主な一般財源である市税は、経済情勢を反映して、前年度より2億5800万円の減と見込みました。

諸収入は、ほかの収入科目に含まれない収入をまとめたもので、前年度より2億9030万3千円の減。

地方交付税は、国から交付されるお金で、使い道が制限されていません。額はその自治体の財政力などにより決められ、前年度より2億円の減。

市債は、建設事業など多額の財源を必要とする場合に一定のルールで借り入れるものと、減税や地方交付税の振替財源として、国の制度に基づいて借り入れるものがあり、前年度より18億4840万円の増。借り入れの返済は、歳出の公債費で計画的に償還が行われます。

繰入金金は、前年度より5億2970万円の増。

国庫支出金は、土地区画整理事業などの特定の事業に対して、国

から補助されるお金で、前年度より2億5218万7千円の増。

県支出金は、特定の事業に対し県から補助されるお金等で、前年度より1億3972万9千円の増。

地方消費税交付金は、地方消費税の2分の1が県から市に交付されるお金で、前年度より3000万円の減となっています。

歳出

民生費は、あやめ保育園整備事業費の増等のため前年費21・5%の増。

土木費は、岡谷駅南土地区画整理事業、東中央通線整備事業の増等のため前年費31%の増です。

総務費は、諏訪湖ハイッツ整備事業費、イルフプラザ管理費の増等のため前年費21%の増。

商工費は、中小企業金融対策費の減等のため、前年比10・3%の減です。

具体的な事業を、6ページから、基調別にご紹介します。

予算編成6つの基調

(第3次岡谷市総合計画の6つの柱)

平成15年度予算重点施策

- ①広域合併の推進
- ②人口増対策推進事業
- ③市民福祉の充実
- ④生涯学習活動の推進
- ⑤地震防災対策事業の推進
- ⑥環境への負荷の軽減を図るための取り組み
- ⑦岡谷駅南土地区画整理事業の推進
- ⑧水資源確保対策の実施



中核的機能を担う
拠点都市を
めざして



快適で安全な
定住都市を
めざして



健康で生きがいをも
って暮らせる
福祉都市を
めざして



豊かな心とかおり
高い文化を育む
生涯学習都市を
めざして



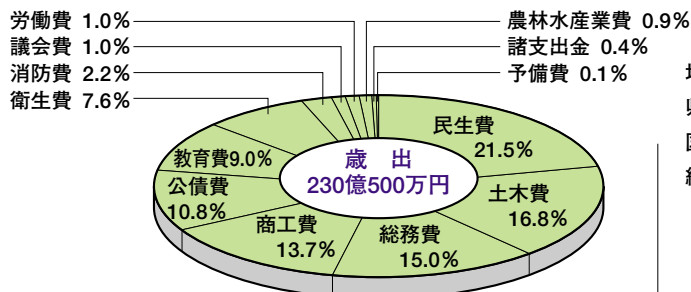
時代変化に
柔軟に対応できる
産業都市を
めざして



市民と行政の
連携による
計画の推進

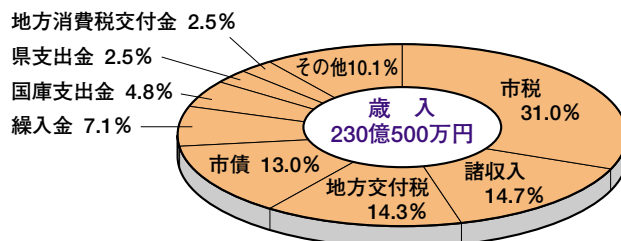
一般会計

歳出



区 分	予 算 額	構成比	前年度比較
民 生 費	49億3,398.9万円	21.5%	21.5%
土 木 費	38億7,029.3万円	16.8%	31.0%
総 務 費	34億4,754.9万円	15.0%	21.0%
商 工 費	31億5,740.3万円	13.7%	△10.3%
公 債 費	24億7,845.1万円	10.8%	2.8%
教 育 費	20億6,856.5万円	9.0%	4.3%
衛 生 費	17億3,788.4万円	7.6%	0.7%
消 防 費	5 億1,610万円	2.2%	0.0%
議 会 費	2 億2,937.2万円	1.0%	0.2%
労 働 費	2 億2,821.8万円	1.0%	0.0%
農林水産業費	2 億1,717.6万円	0.9%	△1.7%
諸 支 出 金	1 億円	0.4%	0.0%
予 備 費	2,000万円	0.1%	0.0%
合 計	230億500万円	100%	10.5%

歳入



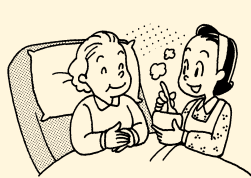
区 分	予 算 額	構成比	前年度比
市 税	71億3,200万円	31.0%	△3.5%
諸 収 入	33億8,072万円	14.7%	△7.9%
地 方 交 付 税	33億円	14.3%	△5.7%
市 債	29億9,670万円	13.0%	161.0%
繰 入 金	16億3,200万円	7.1%	48.1%
国庫支出金	10億9,948.5万円	4.8%	29.8%
県 支 出 金	5 億8,385.4万円	2.5%	31.5%
地方消費税交付金	5 億7,000万円	2.5%	△5.0%
そ の 他	23億1,024.1万円	10.1%	6.9%
合 計	230億500万円	100%	10.5%

※その他には、分担金および負担金、使用料および手数料などが含まれています。

◆市民1世帯当たりで使われるお金

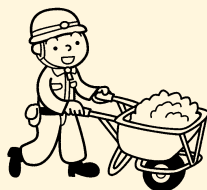
合計 1,159,526円 (参考：市税1世帯当たり 359,476円)

民生費



248,689円

土木費



195,075円

総務費



173,768円

商工費



159,143円

公債費



124,922円

教育費



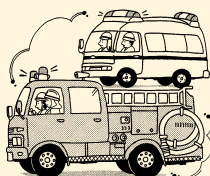
104,262円

衛生費



87,595円

消防費



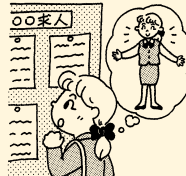
26,013円

議会費



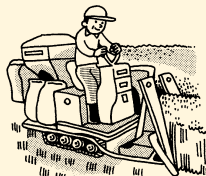
11,561円

労働費



11,503円

農林水産業費



10,946円

その他



6,048円

＝平成15年2月1日現在の世帯数 19,840世帯で計算＝

平成15年度予算 6つの基調（主な事務事業）

▷印は継続事業 ●印は新規事業 背景色は重点施策

1 中核的機能を担う拠点都市をめざして

▷岡谷駅南土地区画整理事業 983,156千円

引き続き丸山橋の架け替え工事を中心に田中線、丸山橋線の築造工事を実施します。

▷湖畔若宮土地区画整理事業 78,568千円

▷国道20号、142号バイパス関連対策事業 27,540千円

用地買収がほとんど完了したことから、工事完成に向け一層促進が図れるよう関係機関に働きかけていきます。

▷岡谷湖畔公園整備事業 51,500千円

●宅地造成事業（地域開発事業特別会計） 904,000千円

湖畔四丁目、小萩二丁目、権現四丁目、神明町二丁目において実施します。

▷シルキーバス運行事業補助金 34,249千円

一日限りのフリーパス券300円の料金形態を新設し、



どの路線へも乗り継ぎができるようにします。

●諏訪湖周バス共同運行事業負担金 11,239千円

運行開始は7月を目安とし、バス2台による内回り、外回りを計画しています。

2 快適で安全な定住都市をめざして

●東海地震の地震防災対策強化地域指定に伴う施策

115,428千円

・公共施設耐震診断事業 (100,395千円)

昭和56年以前に建設された公共施設、特に保育園、小学校・中学校等子供の安全に係わる施設および消防庁舎、岡谷病院、塩嶺病院等災害時の拠点となる施設並びに市営住宅の耐震診断を実施します。

・公会所等耐震診断補助事業 (6,033千円)

・木造個人住宅耐震診断事業 (5,000千円)

・防災医薬品の備蓄事業 (4,000千円)

●新倉・鮎沢地区街路灯維持管理事業 990千円

●環境負荷軽減施策 6,184千円

・住宅用太陽光発電システム設置補助事業 (5,100千円)

地球温暖化防止や省エネルギーなど環境にやさしい生活の実践を支援するため、市民自らが居住する市内の住宅に住宅用太陽光発電システムを設置する場合補助を行います。



住宅に住宅用太陽光発電システムを設置する場合補助を行います。

・住宅用雨水貯留施設設置補助事業 (1,000千円)

・岡谷市新エネルギー導入計画策定 (84千円)

公共施設等において、市が率先して自然エネルギー

一、リサイクルエネルギー、クリーンエネルギー等の新エネルギー導入の促進を図るため、岡谷市新エネルギー導入計画を策定します。

▷新道路5カ年計画事業 550,000千円

道水路新設改良 (458,600千円)

●宅地造成関連事業 (59,800千円)

●十四瀬川改修事業に伴う扇橋架け替え事業負担金 (10,000千円)

▷都市計画街路整備事業 450,575千円

●東町線（2期）事業 (28,000千円)

▷市営住宅整備事業 27,500千円

●田中線住宅建設事業 105,000千円

●マイホーム建設等促進補助事業 20,000千円

●街路樹灌水事業 3,101千円

●防火衣更新事業 5,100千円

●消防団員の被服更新 15,028千円

●市内水資源調査業務 5,000千円

長野県知事による下諏訪ダム建設中止の表明を受け、汚染のない安定した水の供給を図るため、市内での新たな水源確保に向け、電気探査による水源調査を実施します。

●下水道マンホールポンプ警報故障等処理委託料 4,000千円

●自家用汚水ポンプ設置補助事業 3,000千円

●温泉スタンド屋根等改修工事（温泉事業特別会計） 8,500千円

住宅建設促進補助事業・共同住宅建設等促進補助事業・まちづくり住宅センター開設事業等は10～11ページをご覧ください。

3 健康で生きがいをもって暮らせる福祉都市をめざして

●諏訪湖ハイツ整備事業 788,207千円

子供から高齢者まで様々な世代、性別を問わず、市民が誰でも集い、交流し、利用することができる市民福祉の拠点および生涯学習施設として整備を行います。



▷福祉タクシー運行事業 48,854千円

●岡谷市地域福祉計画策定事業 1,358千円

●精神障害者ホームヘルプサービス事業補助金 715千円

●障害者支援費支給事業 242,477千円

●母子通園訓練施設「まゆみ園」、福祉作業所全面改修事業 7,770千円

●保健福祉総合相談事業 1,353千円

●訪問理美容サービス事業 100千円

●シニアからのヘルスアップ事業 2,518千円

●介護保険負担事業 499,051千円

介護保険事業は、保険財政基盤の安定化、事務の軽減および効率化を図るため、諏訪6市町村の保険者の統一を行い、平成15年4月より諏訪広域連合を保険者として運営します。

●高齢者福祉事業経費負担金 3,441千円

▷新あやめ保育園建設事業 636,900千円

新あやめ保育園の建設は、年度内完成をめざし建設に着手します。

●(仮称)湊保育園建設事業 9,000千円

桃園、観音両保育園を統合する(仮称)湊保育園の整備を進めます。16年度建設をめざし15年度では、基本設計、実施設計を行います。

●母子家庭自立支援給付事業 1,300千円

▷検診委託料 58,586千円

●前立腺がん検診 (1,874千円)

●乳がんマンモグラフィ検診 (2,678千円)

●緑内障検診 (1,913千円)

●生活習慣病フォローアップ事業(国民健康保険事業特別会計) 5,169千円

●岡谷市健康増進計画策定事業 1,744千円

●精神障害者日常生活指導事業 611千円

▷福祉医療支給事業 283,656千円

●岡谷病院南病棟改修事業 50,000千円

●岡谷病院ISO9001 2000年版取得事業 12,600千円

●診療録管理体制整備事業 4,217千円

●病院等のあり方検討事業 800千円

●岡谷健康福祉施設休養室等増設工事(財源留保) (100,000千円)

休日保育・延長保育・一時保育の充実、産後ママサポート事業、保育料第3子以降無料化等は、10～11ページをご覧ください。

4 豊かな心とかおり高い文化を育む生涯学習都市をめざして

●小学校教育用コンピュータ整備事業 67,616千円

全小学校のコンピュータ機器をすべて更新するとともに、校内LANを構築し、インターネットを利用した情報収集やメール・ホームページ等での情報発信等の学習活用に向けた環境整備を行います。

●イルフプラザ事業 186,138千円

生涯学習の活動拠点として、また子育て支援機能を充実させた施設として、平成15年度では機能を十分に生かした各種の施策を行います。



・イルフプラザ管理事業 (85,127千円)

・生涯学習活動センター事業 (101,011千円)

生涯学習館事業(ホリデイスクウェア事業、青年向け講座、おかのや市民大学等)

子育て支援館事業(子育てボランティア育成事業、読み聞かせ講演会・実演会等)

●女性のための相談事業 172千円

配偶者等からの暴力等悩んでいる女性のため、生涯学習活動センターに相談窓口を設置します。

●特別展「ラオスの布展」事業 1,357千円

●公民館、市民会館取り壊し、及び駐車場等整備事業 120,000千円

●スワンドーム表示看板設置、シンボルマーク作成委託料 1,830千円

▷日本童画大賞展 7,000千円

●第6回絵本学会開催市負担金 500千円

▷国際交流員受入事業委託料 7,273千円

5 時代変化に柔軟に対応できる産業都市をめざして

▷テクノプラザおかや事業 20,476千円
「スーパーデバイス産地」形成を目指す本市の工業振興の拠点として整備されたこの施設を中心として、引き続き各種の施策を展開します。

- ・テクノプラザおかやフェア事業 (3,439千円)
- ・スーパーデバイス推進研究会事業 (1,780千円)
- ・ものづくり講座実施事業 (3,360千円)



●産学官コーディネイト推進事業 3,004千円

市内企業における技術技能の次代への継承、人材育成、産学官の連携による新技術や新製品開発また新規成長産業分野への進出の支援を積極的に推進します。

- ▷岡谷市商工業振興補助金 21,767千円
- ▷新技術開発支援事業補助金 10,200千円
- ▷国際規格登録支援事業補助金 6,220千円
- 岡谷市勤労者転入促進奨励金 4,000千円

人材の確保や人口増対策とも関連し定住化の促進を図るため、市外から市内の事業所へ就職し、市内に居住した方に対して、家賃補助を新たに行います。

●太鼓道場整備事業（財源留保） (104,000千円)

- ▷商業活性化事業補助金 18,800千円
- 丸山橋架替に伴う商業活性化事業 (4,000千円)
- ・中心市街地活性化販売促進活動補助金 (2,500千円)

●中心市街地商業等活性化総合支援事業 19,320千円

イルフプラザを核として、新たに中心市街地の商業の活性化を図る事業に取り組みます。

(ハイブリットショッピングモール事業、まちなか再発見事業)

●チャレンジショップ設置補助金 300千円

イルフプラザ1階を使用し、期間限定で店舗を開業するいわゆるチャレンジショップの開業について、出店に係る改修経費等の補助を行います。

●商店街街路灯電気料等補助金 1,400千円

▷岡谷商工会議所補助金 16,000千円

▷各種制度資金（貸付金、補助金） 2,661,268千円

●シルク岡谷ふるさと産業研究会補助金 500千円

●小鳥バス50周年記念事業 3,530千円

●小鳥バスワイヤレスガイドシステム導入事業 2,050千円

年々参加者が増加し、高齢の方の参加も多くなっています。解説者の説明をより聞き取りやすくするため、携帯型送受信機を備えます。

▷農道水路整備事業 15,282千円

▷林業振興事業 24,641千円

▷水産振興事業補助金 1,100千円

●農作物獣害防止研究事業 580千円

農作物の獣害が年々増加していることに伴い、山際の耕地の遊休化が進んできております。現在実施している網等による防護対策、罾・檻・銃による捕獲・駆除に加え、ハーブ等臭いの強い植物を農地の周りに植え、中央に獣が好む作物を栽培し獣害に対する研究を行います。

6 市民と行政の連携による計画の推進

●第3次岡谷市総合計画基本構想の改定及び後期基本計画の策定 4,858千円

平成10年度に策定した第3次岡谷市総合計画に基づき、将来都市像の具現化に向け、人口の定着、活力ある産業のまちづくり、高齢社会への対応など本市を取り巻く様々な課題や市民ニーズを総合的かつ的確に捉え、計画的な施策展開を図ってきました。しかし、二つの大型店の相次ぐ撤退や、県の下諏訪ダム建設中止決定など本市を取り巻く社会経済環境等が急速に変化し、基本構想の幾つかの点について、現状との遊離が見られるようになりました。そのため、ここで基本構想の見直しを行い、必要な箇所は改定し、前期基本計画の総括を行い、後期基本計画を策定します。

▷諏訪地域広域合併推進事業 13,735千円

▷行政評価システム導入事業 5,489千円

▷公会所等建設事業補助金 2,333千円

▷地域情報化推進事業 21,333千円

▷地域活性化事業補助金 4,570千円

▷インフォメーション業務委託料 7,938千円

●庁用バス業務委託料 9,800千円

▷岡谷市役所岡谷駅前出張所運営事業 3,893千円

